



### 第18回 ザ・パークレリーズ・トーナメント

先日、ザ・パークレリーズ・トーナメントのボランティアに行ってきました。今回はそのことについて書きたいと思っています。

まず、このトーナメントですが、ポイントランキングで争われるフェデックスカップのプレーオフ第一戦として、毎年ニューヨーク近郊で開催されます。今年はニューヨークのゴルフ好きの憧れ、ベスパージ・ブラックコースで行われました。ポイントランキング上位125名のみが出場できる大会であり、有力選手ばかりが集まります。ブラックコースをプレーしたことのある方はご存知でしょうか、難しいです。有名な看板(図1)にあるように、上級者のみにお勧めされるコースです。いや、むしろ素人はプレーすべきではないと言っているのでしょうか？私が初めてブラックコースをプレーしたのは3年前、日本のコースと掛け離れた、広

大きさに驚いた記憶があります。7468ヤード、パー71、そしてRatings Indexは78・1152という数値をみても納得するモンスターコース。残念ながら私は未だにブラックコースを70代で回れたことがありません。

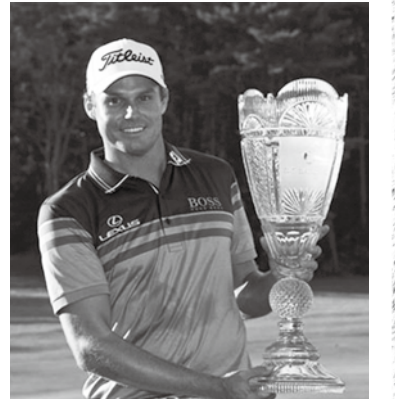
さて、ボランティアをするというのは初めての経験でしたが、選手を間近で見ることができ良い経験になりました。とくに私は練習ラウンドの担当だったので、選手もリラックスモード、観客もほとんどいなかったので、気軽に近づいて声をかけることやサインをもらうことができました。また、彼らの練習やプレーを間近でじっくりと観察することができました。

いろいろ勉強になったことがありますが、率直に感じたことは、第一、底知れぬ体力。まず一番感心したのは、練習とプレーをこなす体力です。シーズン中は毎週のように行われる4日間のトーナメント。多くの選手は火曜日の練習ラウンド、水曜日のプロ・アマ、そして木曜日から日曜日までトーナメント本戦に

かけての6日間(もちろん予選落ちをした場合は違いますが)、トレーニング、練習そしてプレーとこなしています。練習場でプレー前に1〜2時間打ち込み、プレー後にさらにボールを打ち込む。そしてパッティンググリーンで1〜2時間練習

ということを毎日繰り返している訳です。さらにトーナメントの前夜祭やその他の主催者イベントにも顔を出さなければなりません。トーナメントが終わればすぐに次の開催地に移動、その過密スケジュールを淡々とこなしている彼らの体力には驚きです。

第二に、飛ぶ！。パブリックコースであるブラックコースは多くの方がプレーされたいと思います。自分がプレーしたコースであれば、プロとの比較ができると思います。あのブラックコースが随分と短く感じました。例えば17番の207ヤードのショートホール、タイガーは7番で打ちグリーンをとらえています。私は風がフォロワーの時、



優勝したNick Watney選手

同トーナメントは世界のトッププロが集まるメジャー級の大会です。毎年マンハッタンから簡単にアクセスできるコースで行われるので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか？ちなみに、来年はニューヨーク州のリバティ・ナショナル・ゴルフクラブで行われます。また時間がある方はボランティアに参加するのもお勧めです。ゴルフの知識がなくても大丈夫です。観戦にはない経験もできます。

初めてボランティアをした私は練習場のお手伝いという役でしたが、私の友人は毎年ボランティアをしており、今年は最終組のスコアリングという大役を任されています。興味のある方は登録してみてくださいいかがでしょうか？ウェブサイトで登録することが可能です (<http://thebarclays.barclaysgolf.com>)。



4番アイアンでのせた記憶があります。が、アイアンの飛距離だけでも3番手違っています。プロのトーナメントに行くと、そのすごさに魅了されますし、勉強にもなります。今年にはNick Watneyが Sergio Garciaとの接戦の末に優勝、歴代の優勝者を見ても2011年はDustin Johnson、2010年はMatt Kucharが

**高田洋平 Biography**

ゴルフを中心としたスポーツリハビリを学びたいと渡米。バージニア州のシェナンドア大学入学、卒業後、コロンビア大学でDoctor of Physical Therapy (理学療法士)を取得。コロンビア大学病院、Montefiore Medical Centerで働いた後、現在ロングアイランドのReddycare Physical TherapyにてClinical directorを務める。Board Certified Orthopedic Clinical Specialist (OCS)、Sport Clinical Specialist (SCS)。ゴルフリハビリの資格:TPI (Titleist Performance Institute) Medical Profession-Level IIIプロバイダー